【平成２６年度　北海道旭川東高等学校　学校評議員会報告】

第１回学校評議員会

期　日：平成２６年６月１２日（木）　１８：００～１９：３０

会　場：北海道旭川東高等学校　校長室

出席者：学校評議員４名、校長、全定教頭、事務長　８名

今年度は５名の方々に学校評議員をお願いし、評議員会を通して様々なご意見やご要望をお伺いし、学校教育活動の改善・充実に活かしていきたいと思います。

第１回目の会議では、委嘱状交付の後、校長から「本校の現状と学校経営上の課題」について説明し、続いて全定教頭がそれぞれの課程の概要を説明しました。

意見交換では、学校の現状について多くののご質問や、貴重なご意見をいただきました。

〔校長からの説明〕

(1) 全日制課程の学校経営方針について

創立１１０年目が終わり、新たな１０年のスタートということから、スローガンとして次の２点を掲げた。

・新たな歴史と伝統づくり～「継承」から「創造」へ

・東高スタンダードの確立～進路実績や部活動等において高いレベルでの安定を

(2) 定時制課程の学校経営方針

・すべての生徒が明るく楽しい学校生活を送るための学習環境の整備

・生徒一人ひとりの能力・個性を伸ばすきめ細かな指導の充実

上記２点を重点課題として、同僚性を発揮するための職員間のコミュニケーションの促進や報告（ホウ）・連絡（レン）・相談（ソウ）を徹底すること。組織運営体制や指導体制を充実させることによる「学校力の向上」

〔学校全般についての意見交換〕

【評議員】

医進類型指定校は、平成２０年度から実施しているが、その効果は。

【学校】

医学部に進学する生徒が増加している。また、東大・京大や北大などに合格できる生徒が、自分のやりたいことのできる大学に進学するケースも増えている。

【評議員】

文系の生徒が減ってきているのか。

【学校】
　これまでは理系４クラス、文系３クラスだったものが、理系５クラス、文系２クラスへとなってきた。

【評議員】
　理系の女子生徒が増加しているが、進路にもつながっているのか。
【学校】
　入試も（ＡＯ、推薦など）様々な形態があり、その受け皿が理系に進学する女子が増加している。大学入学後のフォローもある。ものづくり系への人気や理系の方が就職が良いなどの理由もある。

【評議員】
　オレオレ詐欺の被害もあったが、この時代、生徒に対し個人情報の流失を防ぐためのスキルなど指導が必要と感じる。
【学校】
　昔は個人情報の管理が緩やかであったが、昨今は留意して対応、指導を行っている。

【評議員】
　天文サークルに多くの生徒が加入しているが、積極的な活動を行っているのか。
【学校】
　天体観測会など積極的な活動を行っている。

【評議員】
　数学や化学オリンピックなどへの参加は。
【学校】
　昨年度、化学部門で入賞しアメリカに行った生徒がいる。また、高校入学後にやり投げを始め全国大会でも活躍している女子生徒に期待が集まっている。旭川東高初のオリンピック選手となるかもしれない。

**　このほか、旭川の街作りなどについても話題となり、評議員の方々から様々なご意見をいただきました。**